

学校自己評価

学校自己評価とは、戸田中央看護専門学校が、組織的・継続的な教育活動の改善を行い、学生・卒業生、関係者との連携協力による特色ある学校づくりを推進するために行う評価です。学校評価は教育機関としての機能を包括的に判定する学校関係者評価と、教職員による学校運営全般、卒業生による教育活動等、在校生による授業アンケートの評価からなっています。平成30年度より実施されています。

令和3年度の取り組みと評価

<令和3年度 学校自己評価結果と前年度の比較>

表1大項目評価(卒業生・在校生)

評価基準 5 大いに当てはまる 4 当てはまる 3 どちらでもない 2 当てはまらない 1 まったく当てはまらない

	No	I	II	III	IV	V	VI	平均
		教育理念 目標	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援	教育環境	
卒業生	R1	4.1		4.0	4.2	4.0	4.3	4.12
	R2	-		-	-	-	-	-
	R3	-		-	-	-	-	-
在校生	R1	3.7		3.9	3.7	4.2	4.1	3.92
	R2	4.05		3.76	3.78	4.11	3.88	3.93
	R3	3.76		3.76	3.85	4.08	3.83	3.86

#新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、卒業生へのコンタクトが難しくなっており調査できていない。

表2大項目評価(教職員)

評価基準 5 大いに当てはまる 4 当てはまる 3 どちらでもない 2 当てはまらない 1 まったく当てはまらない

No	I	II	III	IV	V
項目	教育理念 目標	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援
R1	3.9	3.7	3.7	4.2	3.9
R2	3.81	3.59	3.80	4.02	4.03
R3	3.8	3.4	3.7	3.8	3.8

財務に関しては毎年事務部より教職員に伝達がされているが、低い評価となっている。社会貢献は、コロナ禍において活動ができていなかったことが要因と考えられる。

No	VI	VII	VIII	IX	X	平均
項目	教育環境	学生の受け入れ募集	財務	法令等の遵守	社会貢献地域貢献	
R1	3.9	3.8	3.5	4.0	4.3	3.9
R2	3.83	3.78	3.59	4.17	4.19	3.88
R3	3.6	3.6	2.9	3.8	3.2	3.6

グーグルフォームを使用し5段階リッカート尺度にて調査した。

表3 在校生アンケート結果 3 学年比較(R2年度)

	1 年生	2 年生	3 年生	平均
教育理念、教育目標	4.10	3.69	4.36	4.05
授業・授業評価	3.91	3.58	3.81	3.76
実習	3.74	3.66	3.86	3.75
国家試験対策	3.97	3.51	3.98	3.82
学校行事	3.68	3.32	3.97	3.66
学生支援	4.38	3.79	4.15	4.11
教育環境	4.08	3.55	4.00	3.88
学校生活全般	3.93	3.61	4.27	3.93

1 年生 回答率 89.9%
2 年生 回答率 65.5%
3 年生 回答率 100%

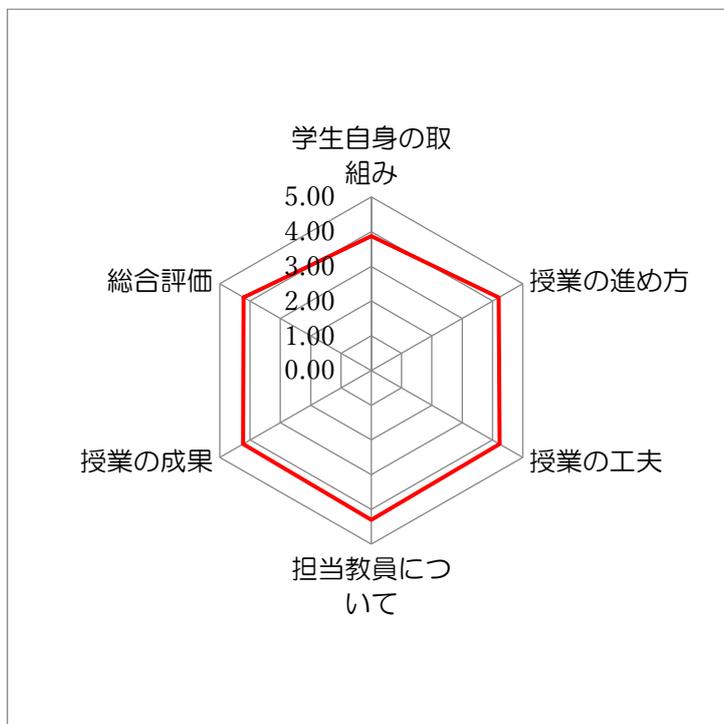
2 年生は実習中のため回答率が低い。平均 3.5 以上であり概ね良好といえる。
行事はほぼ中止となり満足度は低い結果となった。

(R3 年度)

	1 年生	2 年生	3 年生	平均
教育理念、教育目標	3.42	3.71	4.35	3.76
授業・授業評価	3.69	3.77	3.79	3.76
実習	3.64	3.79	3.84	3.77
国家試験対策	3.75	3.85	3.95	3.85
学校行事	3.66	3.46	3.95	3.68
学生支援	4.06	4.04	4.12	4.08
教育環境	3.74	3.78	3.96	3.83
学校生活全般	3.88	4.18	4.25	4.11

1 年生 回答率 83.6%
2 年生 回答率 89.5%
3 年生 回答率 90.4%

教育理念についての値が低いのは前期のリモート授業の影響も大きいと考える。
教育環境に関しては、ロッカールームの狭さという、ハード面の改善を求める声が多い。
すべての項目で平均 3.5 以上であり、満足度はおおむね良好といえる。



昨年度は環境を整え、一昨年と比べ対面授業が多く展開できるようになり、総合評価は、一昨年の評価 4.1 より高い 4.21 となった。

表4 授業評価

学生自身の取組み	3.87
授業の進め方	4.21
授業の工夫	4.24
担当教員について	4.30
授業の成果	4.23
総合評価	4.21

図1 授業評価のレーダーチャート 在校生アンケート

表5 GPA(Grade Point Average)

	2020年度	2021年度
3未満	1名	3名
3.0～3.2未満	6名	11名
3.2～3.4未満	28名	7名
3.4～3.6未満	28名	32名
3.6～3.8未満	33名	40名
3.8以上	16名	20名

GPA(Grade Point Average):3年間を通じた各科目の成績を
A評価は4点、B評価は3点、C評価は2点、D評価は1点としたときの平均値。

GPA平均:2019年度(3.43)、2020年度(3.40)、2021年度(3.58)であった。

表6 学年目標 自己評価結果

1年次目標		平均		2年次目標		平均		3年次目標		平均	
礼	①学習者としてのコミュニケーションを身につける	3.99	3.89	礼	①集団の中でコミュニケーションをとり協働できる	4.27	4.31	礼	1. 他者とアサーティブなコミュニケーションをとり、円滑な人間関係をつくる	4.24	4.06
	②リーダーシップ、メンバーシップを意識して行動する	3.65			②リーダーシップやメンバーシップを発揮し、役割行動をとる	4.21			2. 医療チームでのリーダーシップ、メンバーシップのあり方を考える	4.02	
	③社会的道徳心をもった行動をとる	3.98			③倫理的に配慮した行動をとる	4.36			3. 社会的役割を自覚して主体的行動をとる	3.93	
智	④疑問を解決しようとする行動をとる	3.8	3.77	智	④自己の課題を評価し修正していく	3.67	3.97	智	4. さまざまな場面に対応できる柔軟な応用力、実践力の基礎を身につける	3.6	3.79
	⑤自分を取り巻く環境に関心を持ち、疑問を持つ	3.86			⑤文献などから役立つ知見を選び、活用する	3.9			5. 自分の行った看護倫理と結び付けて振り返り、看護観を述べる	3.75	
	⑥自己の生活を整え、健康な習慣を身につける	3.58			⑥自己及び周囲の人の健康拡大に向けた行動をとる	4.22			6. 医療・保健・福祉に関わる看護のあり方を考える	3.95	
技	⑦保健・医療・福祉における行政の役割及び現在の課題を知る	3.61	3.83	技	⑦保健・医療・福祉のシステムを理解し活用する方法がわかる	3.83	3.92	技	7. 各発達段階、各健康水準に応じ、個性をもった日常生活の援助を実施する	3.57	3.57
	⑧生活整えるための基本的な技術を習得する	3.9			⑧対象の充足されないニーズを導き出し、個性をもった生活を整えるための援助を实践する	3.98					

すべての項目で3.5以上であり、おおむね目標には達していると考えます。

表7 保護者会実施状況

	令和1年度		令和2年度		令和3年度	
	時期	参加人数	時期	参加人数	時期	参加人数
1年生	入学式	120名	入学式	中止	3月	動画配信
2年生	7月	76名	7月	中止	8月	動画配信
3年生	11月	73名	11月	中止	11月	動画配信

保護者会は、感染拡大防止の観点から動画配信とした。多くの保護者にご視聴いただけた。

表8 図書室利用状況 利用者数(名)

	1年生	2年生	3年生	教員	学外者	学生総数	総数(名)
令和元年度	1,319	5,869	8,390	1,122	116	15,578	16,816
令和2年度	1,105	1,535	5,300	1,112	53	7,940	9,105
令和3年度	1,054	2,384	7,500	1,713	38	10,938	12,689

感染状況をみつつ、対面授業に戻っていったことにより利用数が回復傾向にある。

表9 令和2年度 ボランティア活動への参加述べ人数

ボランティア活動	令和元年	令和2年	令和3年
	人数(名)	人数(名)	人数(名)
グリーン・レヅ 蕨・グリーン・レヅ 朝霞台 夏祭り	35名	中止	中止
グリーン・レヅ 安行 夏祭り	23名	中止	中止
とだ優和の杜 夏祭り	40名	中止	中止
ピンクリボン活動	150名	中止	中止
戸田中央総合病院・戸田中央産院合同大規模災害訓練	90名	中止	中止
さいたま国際マラソン全校ボランティア	360名	中止	未開催
戸田市消防総合演習	120名	中止	中止
都立光が丘公園災害時共助訓練	26名	中止	中止
ボランティアサークル清掃活動	—	—	11名
	844名	0名	11名

表10 研修への参加延べ人数(教員)

区分	令和2年	令和3年
	人数(名)	人数(名)
授業設計	2名	5名
シミュレーション		1名
教育実践		2名
学会	1名	7名
教育評価		
看護実践		
管理		
カリキュラム	1名	
国家試験対策	1名	1名
総数(複数回参加有)	5名	16名